

**認定 NPO 法人キーパーソン 21、東京都葛飾区立立石中学校と協働
わくわくする先生とともに創るキャリア教育授業
「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」を7月8日に実施**

認定 NPO 法人キーパーソン 21（神奈川県川崎市、代表：朝山あつこ）は、東京都葛飾区立立石中学校と協働し、7月8日（木）に、子どもたちの主体性を引き出すキャリア教育授業として、キーパーソン 21 が開発した体験型講座「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」を実施します。



（左写真：立石中学校の先生方に対し、キーパーソン 21 の考え方を伝え、先生方のわくわくすることを見つける教員研修の様子。前列：葛飾

区立立石中学校の先生方、後列：キーパーソン 21 メンバー、2020 年 12 月 23 日撮影）

1. 立石中学校との協働と、キャリア教育授業の狙い

中学校では 2021 年度より、新学習指導要領が実施されています。「社会に開かれた教育課程」を目指し、「主体的・対話的で深い学び」の実現が進められていますが、コロナ禍で色々な取り組みがうまく実現できずにいる現状です。

この状況に対して、キーパーソン 21 はコロナ禍で例年通りの職業体験ができず、苦慮されていた立石中学校との協働を 2020 年 12 月 23 日から開始しています。協働で実施しているキャリア教育授業は、中学生が自己のキャリア形成について考え主体的に学べるきっかけとなる「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」というキーパーソン 21 が開発した体験型講座です。7月8日（木）に第3回目を開催します。

キーパーソン 21 では、中学校での取り組み、職業体験活動で社会を知る前に「自分を知る」ことを大事にしています。今回開催する「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」は、社会を知って自分をそこに合わせていくのではなく、自分のすきなものやわくわくすることが、世の中の仕事とつながっていることに気づくことができる、キーパーソン 21 が開発した体験型講座です。

2. キャリア教育授業の概要

対象：立石中学校 2 年(2020 年開始時)の全生徒

期間：第1回（2020年12月23日）～第3回（2021年7月8日開催予定）

開催場所：立石中学校

① 第1回教員研修（2020年12月23日に開催済み）

教員研修では、キーパーソン21のキャリア教育に対する概念を伝え、先生方のわくわくすることを見つけます。また生徒のやりたい気持ちを引き出す方法、向き合い方を伝えました。

② 第2回「おもしろい仕事人がやってくる」講演（2021年1月21日に開催済み）

外部から“仕事人”を呼べないコロナ禍を逆にとり、生徒の一番身近にいる先生を“おもしろい仕事人”として開催しました。「もともと先生になりたかった？」のような普段生徒と会話しない内容などをもとに「先生は何にわくわくするのか？」「先生が大事にしていることは何なのか？」

そして「なぜ教員という仕事を選んだのか？」などについて、先生を掘り下げていく講演型講座「おもしろい仕事人がやってくる」を行いました。

（右写真：講演型講座「おもしろい仕事人がやってくる」の様子、2021年1月21日撮影）



③ 第3回7月8日（木）～体験型講座「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」～

今回は生徒自身が自分を掘り下げます。自分の「わくわくすること」を見つけ出し、それが世の中の仕事とつながっていることに気づくことができる体験型講座「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」を開催します。



3、プログラムの詳細 ～経産省主催「キャリア教育アワード経済産業大臣賞」受賞～

今回、キャリア教育授業で実施する「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」は、キーパーソン21が開発した「夢！自分！発見プログラム」の一部になります。

「夢！発見！プログラム」は、2016年に、経済産業省主催「キャリア教育アワード経済産業大臣賞（中小企業部門）」を受賞した、子どもたちのやりたい！を引き出すキャリア教育プログラムです。

「夢！発見！プログラム」は、これまで全国各地で20年間、53,266人（2021年3月31日までの延べ人数）の子どもに提供してきました。

地域の様々な大人たちとの出会いの中で、子どもたちが将来の仕事や生き方を考え、本当に大切にしたいことに気づき、主体的に人生を選択して動き出す力を育みます。多数の学校で授業に導入されている教育効果の高いキーパーソン21オリジナルのプログラムです。



4、立石中学校との協働による今後の展望

キャリア教育授業を通じて生徒は、先生の普段は見えない深いところを知ることによって「先生も一人の大人なんだ」と親近感が湧きます。同時に、先生は生徒が何にワクワクするのか知ることによって生徒と新たなコミュニケーションポイントが増え、手探りではなく堂々と生徒のやりたい気持ちをサポートできるようになります。

こうして生徒と先生のお互いの信頼関係が高まります。学校、生徒、先生が、安心安全に、学びたい、生徒を応援したい、という自然な姿が、葛飾区立立石中学校を先頭に全国各地に溢れることを目指します。

【参考】キーパーソン21と立石中学校との協働の経緯

キーパーソン21では子どもたちにとって先生が人生で一番初めに会う「おもしろい仕事人」としてのキーパーソンになる「先生ワクワクプロジェクト」を全国の各学校と協働し進めています。このプロジェクトなどの内容を日本講演新聞「やる気エンジンのかけ方」（株式会社宮崎中央新聞社）という連載をしていたところ、その記事に共感した立石中学校・佐藤竜馬先生より、2020年10月に、キーパーソン21に問い合わせいただきました。

立石中学校では1学年の時に、様々な職業の方に話してもらうなどして、生徒のために将来を考えさせたり、進路選択につなげる活動を行っていました。しかし、コロナ禍でこうした職業教育をどう継続するか、が課題でした。そこで、キーパーソン21と協働することになり、2020年12月23日から今回のキャリア教育授業を開始しました。



(写真：立石中学校の先生方へキーパーソン21の考え方を伝え、先生方のわくわくすることを見つける教員研修の様子)



【資料】団体概要

名称：認定NPO法人キーパーソン21（特定非営利活動法人 キーパーソン21）

設立：2000年12月10日

本部：神奈川県川崎市中原区新丸子東2-907-25 ハイッ武蔵小杉704

代表理事：朝山あつこ

会員数：456（理事9名、監事1名、顧問2名、アドバイザー3名）

全国拠点：北海道、新潟、北関東、東京、神奈川（川崎、湘南）、静岡、沖縄、滋賀、島根、千葉、

2000年に教育NPOとして創設。当初より「集団の教育」から「個への教育」へ、一人ひとりの中にあるわくわくエンジン（自ら動き出さずにはいられない自分だけの原動力）を大切にもう一步踏み込んだキャリア教育「夢！自分！発見プログラム」を5万人以上に届けています。第7回キャリア教育アワード最優秀賞（経済産業大臣賞）受賞。団体としてグッドガバナンス認証取得（アドバンス認証）。

キーパーソン21ではあらゆる大人たちが次世代を育むために一緒になって本気で力を注ぐ社会を目指し、持続可能な地域づくりを行っています。私たちは以下3者を重点的に対象とした活動を行っています。

- ・親：親子の相互理解を深め、子どものやりたいを引き出すオンラインプログラム
- ・学校：先生が生徒のやりたいを引き出すプログラム
- ・企業：上司と部下がお互いの意欲の源泉を見出だすプログラム

(参考) キーパーソン21の取り組みの強みと独自性 

	キーパーソン21の取り組み	他団体、他キャリア教育プログラムの取り組み
大人対子ども	大人1名対子ども1名～6名程度。 対話ができる人数ですずめることができる。	ほとんどの場合、大人1名対子ども多数。
内容	“自分を知る”ということからはじめるキャリア教育を提供。 プログラムによって自分を知ること、初めて自分の軸を持ってどう社会とつながるか、自分を活かすことを考えることができ、自律に向けて進むようになる。 そのプロセスに貢献できるプログラムがある。	“社会を知る”（職場体験、インターンシップ、職業人講話等）が中心。 経験は積み重なるが、それだけでは自分と社会をつなげにくい。
自分を知る方法	ゲーム形式で、大人と対話をしながら楽しくすすめることができる。 プログラムで使用するワークシート中の言葉は、本人の内から出てきた言葉のため、納得感がある。 自分を知るプロセスを知ることで、主体性が芽生え、自分で考えるきっかけをつかみ、自ら選択し、行動する力が身につくようになる。	適正検査等、テスト形式が中心。あくまでも自己理解をするための補助的なものにはすぎない。 きちんとした大人のフィードバックがなければ、時に本人に違和感をもたらすものにもなる。
関わる大人について	子どもたちを認める、子どもたちからの言葉、可能性を引き出す等を会得できるよう、ファシリテーションとコーチングの要素を盛り込んだ実践型、アクティブ・ラーニングの手法による事前研修が提供できる。 地域でプログラムを実践できる『わくわくナビゲーター（プログラムのファシリテーター）』が養成される。事前に地域の大人たちに対して研修をすることによって、プログラム中の子どもたちだけの姿でなく、地域で子どもたちを支援する大人にも変容をもたらすことができ、その後の子どもたちを応援する意識が醸成される。 お互いを認め合える温かな関係性が教育を通じた地域に愛着が持てる持続可能な地域づくりにつながる。	もともと持っている大人のリソース頼り。 子どもたちへの対応にばらつきがある可能性がある。

代表理事 朝山あつこ略歴

わくわくして動き出さずにいられない原動力「わくわくエンジン®」の発見提唱者。

長男の中学校の学校崩壊がきっかけで、大人も子どもも、自分を活かしていきいきと仕事をして生きていってほしいと願い、2000年にNPO設立。

「夢！自分！発見プログラム」を開発し、学校、企業、行政、大学、PTAなどと連携し、“一人ひとりのわくわく”から主体的になるキャリア教育を北海道から沖縄まで全国に展開中。これまで、5万人を超える子どもたちにプログラムを提供してきている。

日経 WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2005」クリエイティブ部門受賞。

神奈川県立の大学における男女共同参画推進プログラム検討委員や、

企業のCSR教育プログラムアドバイザー、その他、多数の企業や教員研修を務める。

2017年 経済産業省主催 キャリア教育アワード 中小企業部門最優秀賞を受賞。

2018年 内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省の三省連携シンポジウムで基調講演。

2019年～ 相模原市総合計画審議会委員

著書：「ふつうの主婦が見つけたやる気のエンジンのかけ方」

以上